

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 25 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学専攻	専攻	著者氏名 照山 正浩
指導教員氏名 高橋 正文			
論文題目 Shannon 情報量による信用リスク評価			
論文概要 <p>2008年のリーマンショックを発端とする金融危機を通じて、信用リスク管理の重要性が再度認識されている。デフォルト確率を予測し、新BIS規制の導入に向け、適切な内部格付制度の確立とその検証が大きな課題となっている。また、近年キャッシュフロー構成比分解分析を基に、Shannon情報量を基とする情報量である相対エントロピーを求め、情報量の解釈を企業分析に生かすという手法が登場している。既存研究からは、この構成比分解分析と情報量モデルを組み合わせることによって、二期における構造変化を明らかにし、財務上の構造変化と規模的变化を峻別して識別できるなどの特性があるとされるが、複数企業分の実証分析を通じた特性の評価、特に企業価値の評価につながるのかなどの点については明らかではない。本研究は、情報量モデルの利用可能性について数百社分の分析を通じて比較議論するとともに、各財務データから算出された情報量で格付け推定を行う事で各情報量についての特性を明らかにすることを目的としている。</p> <p>結論として、全体としては算出された情報量は格付けを説明する変数としての有効性が確かめられた。よって、情報量を計量することで、ある程度優良企業と投資不適企業を見分ける指標となる事は明らかとなったといえる。しかし、推定精度等を考慮すると、構成比の算出などに課題が残されているともいえる。</p>			
審査日	平成 26 年	1 月	30 日
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授	博士(学術)	庄司 功
副査	筑波大学 助教	博士(経済学)	竹原 浩太
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	高橋 正文